

# 石見銀山の保全に参加

島根中央高生 伐採の竹150本運ぶ



切り出した青竹の丸太をリレーで運び下ろす生徒たち

川本町の島根中央高の1、2年生107人が17日、大田市大森町の石見銀山遺跡の保全活動に参加した。明治時代に銀を精製した清水谷製錬所跡で伐採した青竹を搬出し、景観保全に一役買った。同市のNPO法人「緑と水の連絡会議」や大森町の有志が前日

ぎると遺構が壊れるのを初めて知った。雨の中の作業は楽しく、忘れられない活動となった」と額の汗と雨を拭っていた。同校は2012年、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の理念実践校「ユネスコスクール」に認定された。石見銀山遺跡では春と秋の年2回活動し、川本町内の丸山城跡でも保全活動を続けている。（城戸昭夫）

に竹を伐採し、長さ2メートルの丸太にして野積みした。この日、雨がっぱを着込んだ生徒たちは雨が降る中、高さ30メートル以上ある製錬所跡の山道約300メートルに並び、リレーで太さ10センチ余りの丸太約150本を丁寧に運び下ろした。1年の中山周作君

庫の1件について、所有者から「異常なし」とあつた報告を国土交通省に連絡した。県は建物の場所などの詳細について「民間のため、公表しない」としている。県は14日、国から該当物件の詳細を知らされ、建築基準法に基づき、所有者に地盤沈下や傾き、ひび割れなどがなくか現地調査し、結果を報告するように要請していた。建築した元請け業者に同法に基づき、当時の工事状況やデータの流用の内容などについて報告を求めている。県内の調査対象120件のうち、完了していない7件の調査結果は24日までに示される予定。県建築住宅課は「詳細が分かっているのはデータ流用の1件

## 事件・事故

廃校に侵入 窃盗疑い

出雲署は16日、出雲市斐川町直江、会社員青山真也容疑者(32)を建造物侵入と窃盗の疑いで逮捕した。

出雲署の調べでは、同市松寄下町、会社員石飛敏行被告(55)と別の窃盗罪で起訴し、同市白枝町、同小川優被告(33)と同一共謀。6月4日夜、市内の廃校舎に侵入し、水道の蛇口や配管などの真ちゅう約112キログラム(計4万8160円相当)を盗んだ疑い。同署によると、3人は会社の同僚。真ちゅうは鉄くずを扱う市内のリサイクル業者に転売されていたという。

<幕下>		
山	西20 (出雲)	●●●●●●●●
弥	東38 (隠岐の島)	●●●●●●●●
岐	段目	
<三>		
士	西37 (海士)	●●●●●●●●
の	西57 (出雲)	●●●●●●●●
島	東68 (海士)	●●●●●●●●
鳳	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
士	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
錦	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
岐	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
の	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
岩	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●
崎	東71 (西ノ島)	●●●●●●●●